

# FUJITSU Software Systemwalker for Oracle V15.1 ご紹介

2022年7月

富士通株式会社



# 目次

こんなことでお困りではありませんか？  
 Systemwalker for Oracleが解決します！  
 Systemwalker for Oracle機能ご紹介  
 動作環境（プラットフォーム）  
 他社と比べてSystemwalker for Oracleはこんなに便利  
 モデルケース

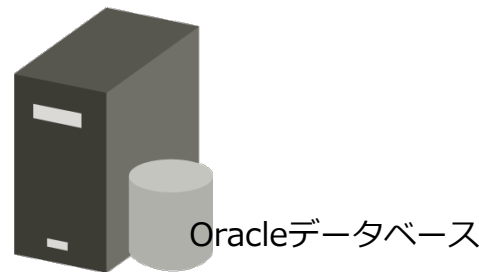
# こんなことでお困りではありませんか？

- Oracleデータベースの運用監視で、何をどのように行ったらよいかわからない
- Oracleデータベースの異常を早く検知したい
- Oracleデータベースに異常が発生した時、何をしてよいのかわからない



# Systemwalker for Oracleが解決します!

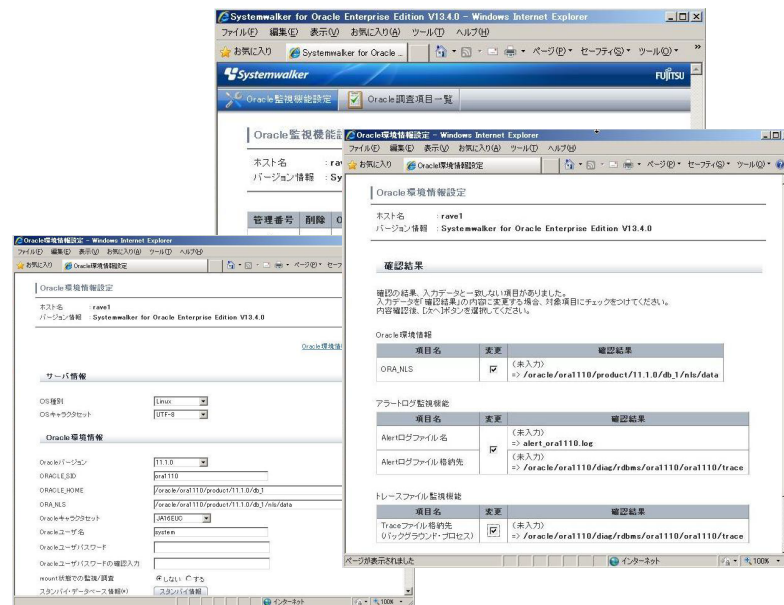
- 事前に用意されたOracleデータベース監視項目から必要な機能を選択して監視を実施
- Oracleデータベースに異常が発生する前に予兆を検知、異常発生時は素早く通知して業務停止期間を短縮
- Oracleデータベースのエラーメッセージの説明と処置方法を自動的に検索して表示



※ Systemwalker for Oracle には、Systemwalker Centric Manager が必要です

## ■Oracleデータベース監視項目の設定、確認を簡単に実施可能

- Oracle環境情報の設定時に入力した項目の確認が可能です。これにより設定ミスにともなう監視未実行を防止することができます。
- 監視対象のOracleデータベースに関する情報および監視条件を設定すれば、すぐOracleデータベースの稼働状況を監視できます
- 監視画面にエラーメッセージを表示するためにSQL文やプログラムの作成は不要です
- 異常を検知した場合、運用管理クライアントの監視画面にエラーを表示するため、複数のOracleデータベースを集中して監視することができます



# Systemwalker for Oracle機能ご紹介

- Oracleに異常が発生する前に予兆を検知、異常発生時は素早く通知して業務停止期間を短縮

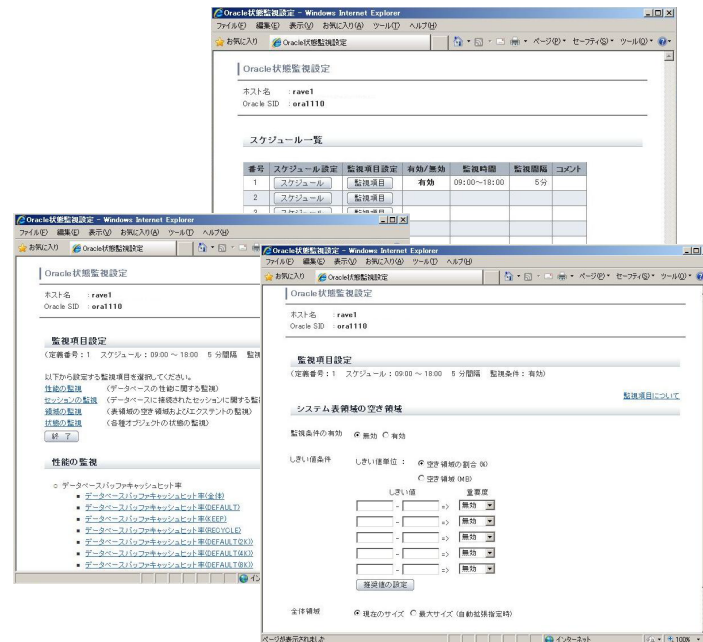
- 以下の項目を選択して監視を実施。異常発生時には画面に通知され、素早く検知することができます

- 予兆を検知するための機能

- Oracleのしきい値監視
- 空き領域の監視、セッションの監視など

- 異常を検知するための機能

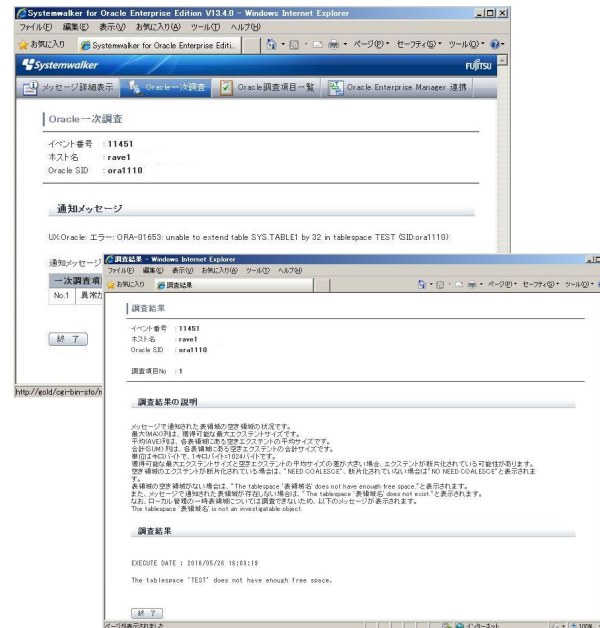
- Oracle異常発生時の出力ファイルを監視
- Oracleプロセスの消滅を監視
- Oracleオブジェクトの異常を監視



# Systemwalker for Oracle機能ご紹介

- Oracleのエラーメッセージの説明と処置方法を自動的に検索して表示し、対処までの時間を短縮

- Oracleのエラーメッセージに対応する説明を自動で表示することができます
- Oracleのエラーメッセージに対応する調査項目を選択して実行し、その実行結果と解説から異常内容を判断することができます
- 調査項目を一覧から選択実行してエラー発生前に調査することができます
- リモート操作により遠隔地にあるOracleのトラブル対処が可能です



## ■ Systemwalker for Oracle V15.1（Standard Edition / Enterprise Edition）

### 対応プラットフォーム

動作OS	運用管理サーバ	部門管理サーバ	業務サーバ	運用管理 クライアント
Windows Server 2012 Foundation (64-bit) Windows Server 2012 Standard (64-bit) Windows Server 2012 Datacenter (64-bit)	○	○	○	—
Windows Server 2012 R2 Foundation (64-bit) Windows Server 2012 R2 Standard (64-bit) Windows Server 2012 R2 Datacenter (64-bit)	○	○	○	—
Windows Server 2016 Standard (64-bit) Windows Server 2016 Datacenter (64-bit)	○	○	○	—
Windows Server 2019 Standard (64-bit) Windows Server 2019 Datacenter (64-bit)	○	○	○	—
Windows Server 2022 Standard (64-bit) Windows Server 2022 Datacenter (64-bit)	○	○	○	—

【凡例】 ○：サポート      —：未サポート



## ■ Systemwalker for Oracle V15.1（Standard Edition / Enterprise Edition）

### 対応プラットフォーム

動作OS	運用管理サーバ	部門管理サーバ	業務サーバ	運用管理 クライアント
Windows 8.1 Pro Windows 8.1 Enterprise Windows 10 Pro Windows 10 Enterprise	—	—	—	○
Windows 8.1 Pro (64-bit) Windows 8.1 Enterprise (64-bit) Windows 10 Pro (64-bit) Windows 10 Enterprise (64-bit)	—	—	—	○
Oracle Solaris 10 Oracle Solaris 11	○	○	○	—
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	○	○	○	—
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	○	○	○	—

【凡例】 ○：サポート      —：未サポート

## Systemwalker for Oracleを選択すると・・・

- Oracleやサーバ状況などすべてを同一の画面で監視が可能
- 予兆監視によりエンドユーザより早く異常を発見
- Oracle監視の基本的な項目がすぐに利用可能
- Oracleの調査用プログラムがすぐに使えて種類が豊富
- リモート操作により各拠点へのDB管理者配置は不要



## ■ 流通業 F社様の場合 【導入効果】

### ■ 費用面での効果

- Oracleデータベース停止による業務停止への影響：23百万円/時間の損失

→ 予兆を検知して停止前に対処することで、金銭的損失（24時間停止で550百万円）、および、社会的影響を防ぐことが可能

### ■ 工数面での効果

- Oracleデータベースの稼働状態を監視するプログラムを作成する場合、1項目あたり2人日必要、40項目の監視を行うには80人日必要

→ プログラム作成の工数を削減可能、監視機能はすぐに使用可能

### ■ トラブル発生時の調査用プログラムが60本存在

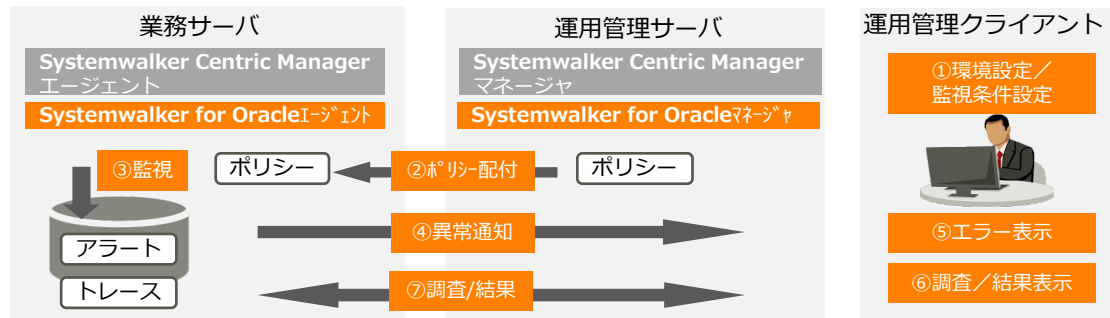
→ トラブル初期調査実施の時間を短縮

調査用プログラムを作成した場合の120人日の工数削減

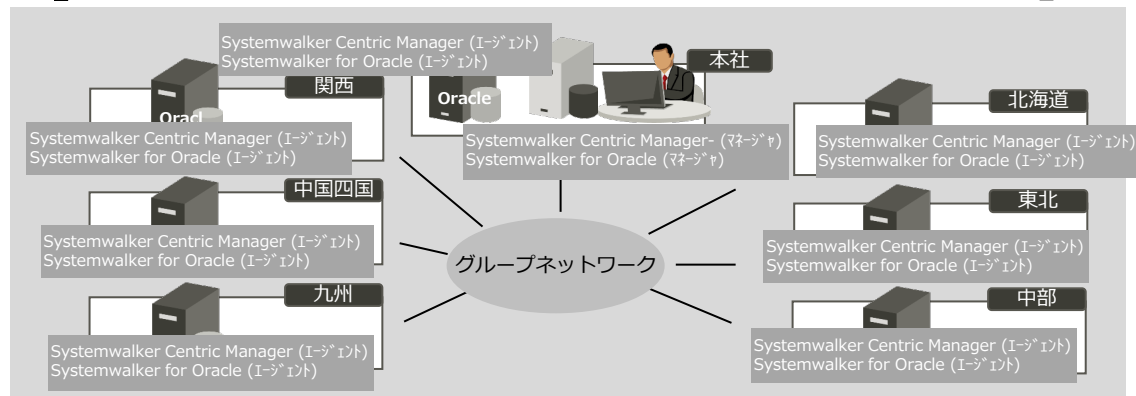
# モデルケース②

## ■ 流通業 F社様の場合 【システム構成】

運用イメージ



全体システムイメージ



- Systemwalker、Interstageは富士通株式会社の登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- ITILは、英国およびその他の国における英国政府OGC(Office of Government Commerce)の登録商標または商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMは、IBM Corp.の商標です。
- 文中の会社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示(TM・®)を付記しておりません。

